

ペースメーカー植え込みが腎機能に及ぼす影響に関する研究

1. 研究の対象

2019年1月1日～当院でペースメーカー植え込みを受けられた方

2. 研究目的・方法

心臓と腎臓は互いに影響を与え合う関係性にあり、一方の急性または慢性の臓器不全が他方の急性又は慢性の臓器不全をきたすことがある。様々な機序が提唱されているが、その1つの機序として心臓の拍出は腎臓への血流に影響を与えることから、不整脈を含めた様々な心疾患が腎機能に影響をおよぼしうるとされている。その中で徐脈性不整脈が及ぼす影響については報告が乏しく、特に慢性的な影響があるかどうかについてははっきりとしていない。

本研究では当院で過去にペースメーカー植え込みを施行された慢性腎臓病患者の腎機能の推移などのデータを解析することにより、徐脈性不整脈に対して行われるペースメーカー植え込みが腎機能に対してどのように影響しているかを明らかにすることを目的とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、生活歴、併存疾患の状況、バイタルサイン、身体所見、血液・尿検査結果、各種画像検査結果、ペースメーカー植え込み手術の詳細内容

試料：血液・尿検体

4. 外部への試料・情報の提供

当院内でデータ解析を行いますので、外部への提供はありません。ただ、資料の測定のため外注検査を依頼する場合がありますが、個人情報は保護されます。

5. 研究組織

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 腎臓内科

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

研究責任者：地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 腎臓内科 林 昌登， 村津 淳

研究代表者：地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 腎臓内科 林 昌登